

八戸

八戸学院大学地域経営学部
地域経営学科の2～4年生約
10人が20日、八戸市内で開か
れた農業体験会に参加した。
コンバインを使った稲刈りに
挑戦し、地元の農業に理解を
深めた。

同大と市が今年から始めた
規格外・未利用農作物の活用
に関する共同研究事業の一
環。体験会は、同事業に参加
する同市の米穀卸販売業「ラ
イケット」の協力を受け、同
社が管理する同市八幡の水田
で実施した。

学生はコンバインに乗り込
み、同社の社員から操作を教

地元の農業 理解深める 八学大生 稲刈り



コンバインを操作し稲刈りに挑戦する学生Ⓔ

わった。コンバインのスピー
ド調整に戸惑いつつも操縦し
ていた。収穫した稲をコンバ
インから軽トラクックに移す様
子も見学した。

「子どもの時に稲刈り体験に
参加していたので農業の大変
さを分かっていたつもりだっ
たが、（米作りには）多くの
人たちの頑張りがあるのだと
改めて分かった」と話した。

（相澤賢齊）